



ハルザキヤマガラシ
(*Barbarea vulgaris*)

～要注意外来生物～

原産地と分布

ヨーロッパ原産。北アフリカ、オセアニア、北アメリカ、アジア

定着実績

1910年頃、麦類に混入による非意図的導入。サラダ用に栽培。全国に分布。

被害をもたらす要因

温帯に分布。畑地、水田、荒地、草地、路傍、河岸などに生育。林道に沿って山地にみられる。冷涼で日当たりが良く、湿った肥沃地を好む。土壌の種類は選ばない。開花期は5月。長角果は風、雨、動物、人間により伝播。個体当たりの種子生産量は40,000～116,000個との報告がある。根茎でも繁殖。

特 徴

アブラナ科の越年草～短命な多年草で、高さは0.2～0.9m。ヤマガラシ属は世界で約20種。日本に1種が自生。

3月 21日－春分の日

2014年
平成26年

土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月							
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31



林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

【URL】http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html